

現代の家族と子育てを考えるワークショップ（第6回）

「資源」とは、人が持っている「能力」と「時間」を意味します。仕事・家事・子育てなど、社会的な活動はすべて資源を使って行われます。子どもが健全に発達するためには、まず親子での落ち着いた交流が必要です。そして、祖父母・きょうだい・学校の友達や先生・地域社会の人々など、できるだけ多様な人と多くの交流をすることが必要です。また、知的発達や情緒的発達を促す環境を与えることも必要です。これらがすべて子どもの発達を促す資源として機能します。そしてこれらの資源を子どもに供給するための条件として、子育てを担う家庭や学校に資源の余裕が必要になります。しかし、現実には社会全体で資源不足に陥っている現状があり、それが現代の教育の様々な問題の背景にあると思われます。その解決のために、今後は資源の不足をどう補い、バランスをとるかが非常に大きな課題になってきます。今回はこのことについて皆さんと一緒に考えてみたいと思います。講演に加えて、グループ・ワークでの体験により、実感として内容を理解できるように工夫されています。ぜひご参加ください。

テーマ 今、子どもたちの健やかな成長のためにできること

～「資源」をキーワードに～

講師 不登校支援ネットワークスタッフ

小幡吉広（大矢野ひまわり保育園園長） 豊永亨輔（学校心理士）

竹下 薫（臨床心理士） 高森敦子（学校心理士）

主催：不登校支援ネットワーク

対象：保護者。教育・福祉・心理など、対人援助職の方。

興味のある方。40名程度。

日時：2015年10月18日（日）13:30～16:30

場所：くまもと県民交流館パレア 会議室7（10階）

会費：500円（資料代等）

お申し込み：(1)(2)どちらかの方法でお申し込みください。（電話による受付はできません。）

(1) メール：下記ホームページの「申し込み専用フォーム」に入力し、送信してください。

(2) FAX：096-248-7209（豊永）

①^{ふりがな}氏名 ②性別 ③年齢 ④所属 ⑤住所 ⑥TEL/FAX ⑦メールアドレス をご記入ください。

様式は自由ですが、FAX用紙を下記ホームページからダウンロードすることもできます

*申し込み多数の場合には定員に達した段階で受付終了とさせていただきます。

お問い合わせ

メール：下記ホームページの「お問い合わせフォーム」より入力・送信してください。

不登校支援ネットワーク <http://sldn.net/index.php?topic=shien>

不登校支援ネットワークは宗教法人真言寺の外郭団体です。不登校やひきこもりになっている青少年への援助ならびに、教育・福祉・医療などの専門職のサポート、新しい視点の回復プログラムの研究開発などの活動を行うことを通して、社会・教育・福祉に貢献することを目的としています。代表：豊永亨輔。

